

## 断固抗議！<sup>昇給額表に記載した等級及び評価に応じた昇給は実施するが、</sup>「ベア・ゼロ」回答！

### コロナ禍の下、奮闘する社員の「やる気」を削ぐものでしかない！

3月18日、貨物会社は「2021年4月1日以降の賃金引上げに関する申し入れ」(国労闘争申第6号)に対する回答として「昇給額表に記載している等級及び評価に応じた昇給は実施するもの。ベアについては実施できない」と「ベア・ゼロ」の回答を示した。

昨年度の「200円の賃金是正」や2年連続の「ベア実施」を行った経緯がある中で、過去18年連続の「ベア・ゼロ」に回帰する、今回の「ベア・ゼロ」回答は、社員の苦しい生活実態を放置するばかりでなく、「指定公共機関の使命」により奮闘し続ける社員のモチベーションすら削ぐものである。

くわえて、この間の「労働協約」における「企業の発展」と「組合員の生活の維持向上」の「どちらも重要な課題である」との労使の共通認識からも逸脱するものでしかない！

「中期経営計画2023」に基づき「経常利益140億円以上の達成」の実現、「設備投資2,080億円」を計画する一方で、「災害による減収」「経営課題」を盾に「社員犠牲を押し付ける」会社の姿勢としか受け取ることはできない！

「厳しき」だけを前面に出した、今回の「ベア・ゼロ」回答は、社員の生活改善には程遠く、到底納得できるものでない！ 貨物本社に対して全職場から抗議の取り組みを集中しよう！

## 「ベア・ゼロ」回答は、到底認められない！

### 社員の生活の維持向上のため、経営陣には責務がある！

**闘争指示33号に基づき、  
全職場から抗議行動を！**



2013年度以降、貨物会社の経営は順調に推移し、2年連続の「鉄道事業部門の黒字」、経常利益は過去最高益を達成した。しかし、相次ぐ自然災害に見舞われる中、昨年度は史上4番目の経常利益を確保した。

会社の経営体力はついてきており、これだけ利益を上げることができたのは社員の努力に他ならない！

経営陣は、今こそ社員の努力・家族の支えにこたえるべき責任がある！

**本日、追加で21筆の個人署名を提出！  
1,158筆の署名の重みを考慮すべき！  
これまでの利益の積み上げは  
社員の努力によるものであり  
今こそ社員の生活改善を図るべきである！**